

勢和小学校だより

発行日：令和5年5月31日 第4号

安心して水泳ができるために プール修繕工事中です



老朽化によるプール底面のコンクリートが剥がれが原因で、昨年度、水泳中に擦り傷などのケガをした人がいたことから、安全に水泳ができるよう、現在、高学年プール底面の修繕工事を行っています。また、低学年プールにもコンクリートが一部欠けているなど、素足で歩くと大変危険なことから、工事してもらっています。

写真は、コンクリートの欠けたところを左官工事で埋めてもらっている様子です。この後の塗装工事完了後から、プール水泳を始めます。

なお水泳指導開始予定日は6月19日(月)ですが、場合によっては遅れることがあります。



プール修繕工事と併せて、児童昇降口前の側溝の修繕工事も近いうちに行われます。

児童昇降口前の側溝上に敷かれているグレーチングが、コンクリートの劣化により固定されておらず、子どもたちが歩いた際に側溝内に落ちるとケガにつながるため、予定を繰り上げて工事してもらうことになりました。こちらも6月中に実施予定です。



いじめの認知について

子どもたちにとって安心・安全な学校の一つにじめのない学校があります。

いじめの事例としては、金品をたかる、物を隠す、集団で無視をする、暴力を振るう、容姿をいじる等などを思われる方が多いでしょう。

いじめの定義は、いじめ防止対策推進法に書かれており、「(前略)、当該行為の対象となった児童等が心身の苦痛を感じているもの」と規定されてい

ます。つまり「嫌な思いをさせる」行為で、された側が「嫌だ」と思った行為は全ていじめとして認知し、ケア・対応することになっています。

本校では2年生から6年生を対象に、「学級満足度調査」を現在行っています。「居心地のよいクラス」の実現に向けて、子どもたちがどのような思いを抱いているかを確かめる調査です。

その回答結果を見ると、

○嫌なことを言われたり、からかわれたりして、つらい思いをすることがある。

○クラスの人に暴力をふるわれるなどして、つらい思いをすることがある。

に、「少しそう思う」「とてもそう思う」と回答している人がいました。

また、

□クラスの中に、あなたの気持ちを分かってくれる人がいると思いますか。

□あなたが失敗した時に、クラスの人がはげましてくれることがありますか。

に、「あまり思わない」「全く思わない」と回答している人がいました。

このような回答をしている人にはそれぞれの担任が現在聞き取りを行い、思いを把握し、対応しているところです。

安心・安全な学校づくりを進めている以上、いじめを生まない学校づくりは最優先の取り組みです。

子どもたちに「からかい」や「ふざけ」であっても、相手が嫌なことはいじめにつながることを認識させるとともに、子どもたち目線でいじめをさせない学校にしていく必要があります。

現在でも、「そういうことは言わない方がいい」とか「それはあかんやろ」等と気になる言動を注意する人が本校にはたくさんいます。また、「それいいね。」「〇〇さんならできるよ。」と応援や励ましをする人もたくさんいます。このような温かい雰囲気や学校全体に広げ、誰にとっても居心地のよい安心・安全な学校になるよう取り組みます。

PTA奉仕作業ありがとうございました

5月28日(土)PTA生活環境委員会主催の奉仕作業があり、丹生・出江・朝柄地区の会員さんで草抜き、草刈り、側溝の土砂除去作業などを行っていただきました。

皆さんのおかげで大変きれいになりました。日ざしが強く暑い中、ありがとうございました。

